

製品名: GATA-3 (リン酸化 Ser308) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04726**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GATA3
別名	GATA3; Trans-acting T-cell-specific transcription factor GATA-3; GATA-binding factor 3
遺伝子 ID	2625.0
SwissProt ID	P23771
免疫原	抗血清は、ヒト GATA3 の Ser308 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 274-323

背景

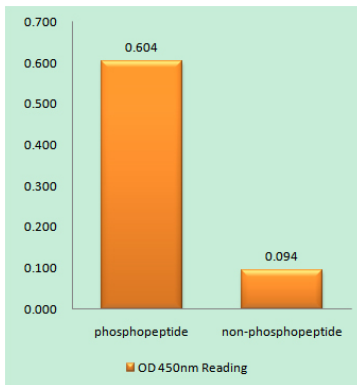
この遺伝子は、転写因子 GATA ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は 2つの GATA 型ジンクフィン

ガーを含み、T細胞分化の重要な調節因子であり、内皮細胞生物学において重要な役割を果たしています。この遺伝子の欠陥は、感音性難聴および腎異形成を伴う副甲状腺機能低下症（HDR）の原因となります。[RefSeq 提供、2009年11月]、疾患：GATA3の欠陥は、感音性難聴および腎異形成を伴う副甲状腺機能低下症（HDR）[MIM:146255]の原因です。パラカット症候群としても知られています。機能：T細胞受容体αおよびδ遺伝子のエンハンサーに結合する転写活性化因子。コンセンサス配列 5'-AGATAG-3'に結合します。類似性：2つのGATA型ジンクフィンガーを含みます。組織特異性：T細胞および内皮細胞。

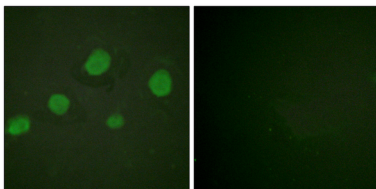
研究分野

免疫学

画像データ



GATA3（リン酸化 Ser308）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定（リン酸化 ELISA）



GATA3（リン酸化 Ser308）抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。